ふるさとの顔 No.412

元気なうちは「すきやき隊」の活動で子供たちを見守っていきたい

すきやき隊結成時から子供たちの通学路に立ち、登校を見守っている三木さん

「子供たちからあいさつがなかったら、こっちから元気良くあいさつをする。そしたら、子供たちもきちんとあいさつするようになってくれるよ」と毎朝、登校中の子供たちに元気良く声を掛けるのは『新得すきやき隊』の目配り隊員として、通学路に立ち、子供たちの安全を見守り続ける三木恒徳さん。

三木さんは、鹿追町笹川で農業を営む家庭に生まれ、6人兄弟の長男として育った。「父親が営林署で勤めた後に、国鉄の保線区に勤めたこともあり、狩勝峠の向こう側の狩勝信号所のところに住んでいたのさ。終戦当時に狩勝信号所の駅にアメリカ軍の兵士がたくさん来てさ。その兵士のポケットからチョコレートや飴などボロボロとたくさん出てきて、子供だったから嬉しくてさ。その後ちょっとしてから、新得駅の周辺にたくさんあった鉄道官舎に引っ越してきたんだよ」と懐かしそうに当時のことを話す。

三木 恒徳（みき つねのり）さん（75歳）
末広会

新得高校卒業後、国鉄に就職した。「父親も国鉄で働いていたし、自分も国鉄で働くことに疑問は感じなかったよ。そういう流れだったんだよね。国鉄での初めての配属先は、南富良野町の鹿越駅。そこには2年くらい居て、その後に新内駅に移ってから国鉄の合理化が進んで、3つの線路が一緒になって誕生したのが新得の保線支区。保線支区は新得駅の線路挟んで北西側にあって、そこで働くようになってから新得に住んでいるんだよね」と話す。

「保線支区には50人以上いてね。今はお酒を飲まないんだけど、若い頃は仲間のみんなと毎晩のように酒盛りしたもんだよ。2人で焼酎3本を飲み干したりとかね。もちろん仕事も一人前になるために、一生懸命勉強したし、一生懸命仕事したよ」と笑いながら話すが、仕事の話をする時は真剣な眼差しになった。

30歳で知人の紹介で知り合って結婚し、3女に恵まれた。

国鉄分割民営化の際に国鉄を離れ、町の交通安全推進協議会の推進員を3年間勤めた後、新得中学校の公務補として勤めた。仕事を退職し、時間に余裕ができたこともあり、知人らとボランティアによる声かけや見守り、子育てをサポートする組織として「新得すきやき隊」を平成18年2月に発足させた。「着るものもバラバラだったんだけど、ライオンズクラブのご厚意で、お揃いの黄緑色のジャンバーを寄付して頂いて、大変感謝しています。元気なうちは、すきやき隊の活動をまだまだ続けるさー」と元気良く話してくれた。

国鉄で働いている時から野球やソフトボールなどをしていたほか、ソフトボール協会の審判部長も勤めた。「今は特にスポーツはしていないんだけど、毎日1～2キロメートルぐらいを歩くことが健康の秘訣かな。歩くのもただ歩くだけじゃなくて、近所の家に異変がないかとか、防犯の意識を持って歩いているんだよね。ちょっとしたパトロールだよ。特に日中は、みんな働きに出たりして家を留守にしている場合も多いし」と近所の防犯にも気を配っている。

「新得に同級生が結構残ってるんだよね。先日も福島にいる同級生が遊びに来るという話になったら22～23人くらい集まってさ。楽しい時間だったよ」と本当に楽しそうに話してくれた。

図書館だより

新得町史 BOOK BOOK

詳しい情報などは町ホームページの図書館コーナーをご覧ください。

注目の一冊

「陸王」

池井戸 潤

埼玉県行田市にある「こはぜ屋」は、百年の歴史を有する老舗足袋業者だ。といっても、その実態は従業員20名の零細企業で、業績はジリ貧。社長の宮沢は、銀行から融資を引き出すのにも苦労する日々を送っていた。そんなある日、宮沢はふとしたことから新たな事業計画を思いつく。長年培ってきた足袋業者のノウハウを生かしたランニングシューズを開発してはどうか。社内にプロジェクトチームを立ち上げ、開発に着手する宮沢。

しかし、その前には様々な障壁が立ちはだかる。チームワーク、ものづくりへの情熱、そして仲間との熱い結びつきで難局に立ち向かっていく零細企業・こはぜ屋。はたして、彼らに未来はあるのか？

新着図書

■一般書

・ジハーディ・ジョンの生涯（ロバート・バーカイク）
・日本2百名山ひと筆書き（田中陽希）
・昭和なくらし方（小泉和子）
・行正り香のクイックサラダ（行正り香）
・世界のお墓（ネイチャー&サイエンス）
・ねないこはわたし（せなけいこ）
・洗脳（Toshi）
・北の富士流（村松友視）
・人生という夢（小檜山 博）
・アンマーとぼくら（有川 浩）
・歌姫メイの秘密（伊藤たかみ）
・おおあたり（畠中 恵）
・長流の畔（宮本 輝）
・スタフ（道尾秀介）
・ラストナイト（薬丸 岳）

■児童書

・かいけつゾロリのおいしい金メダル（原ゆたか）
・うんこちゃんようちえんへいく（のぶみ）
・いちにちこんちゅう（ふくべあきひろ）
・バナーナ！（藤本ともひこ）
・みてろよ！父ちゃん！！（くすのきしげのり）

ひとこと手話講座 ～No.24～

○好き・ほしい

ノドをつまむようにして右手を前に出す

○嫌い

折り曲げた右手2指（親指・人差し指）の指先を胸に当てる

【この手話は、「町手話に関する基本条例研究会」が作成したポスターから抜粋して掲載しています】

図書の窓口

（敬称略）

おくやみ

船戸 松男	（83）	7/7	鉄南会
矢萩美代子	（83）	7/9	新生の2会
川田 レキ	（95）	7/10	西栄会
赤松 豊子	（87）	7/11	新進会
高橋トミノ	（99）	7/12	新進会
杉山 幹夫	（86）	7/30	新生の2会

善意のこころ

（敬称略）

家族が生前お世話になったお礼に

○原 貴行（平和会）
社会福祉協議会に5万円

指定寄付

○新得歌謡合同発表会実行委員会
チャリティ新得歌謡合同発表会の募金を社会福祉協議会へ

町や町の施設に

○山田英和（34区）
小説77冊を図書館へ